

## 東急説明会再意見書に対する再見解 要旨

東急回答（6月）に対する再意見書の回答が来ました。東急建設の詭弁と地権者の総意、横浜市の決定だという事に終始しています。要旨は以下の通りです。

- 1 **「市街地整備と自然環境保全のバランス」は既に大幅に崩れている**  
東急：計画は地権者の総意、横浜市の都市計画決定もされている。
- 2 **「JR港南台駅から直線距離約800m」市民を欺く表示**  
東急：横浜市が直線距離表記であり、これを参考にした。
- 3 **「コンパクトな街創り」だからコンパクトシティーは詭弁**  
東急：300戸の街だからコンパクトシティー構想と整合している。
- 4 **人口減少下の上郷開発は地域全体の活性化を妨げる**  
東急：結節点開発で東上郷、桂台、庄戸、野七里の生活利便性を加速する。
- 5 **上郷開発の事業コンセプトは全て詭弁**
  - ① 開発は10haの自然環境破壊そのもので、自然環境の創出など不可能。  
東急：上郷開発は、自然環境の保全と創出だ。
  - ② 埋立て・風害を不正資料でアセスを通したのは危険な開発の証拠。  
東急：開発は安心安全のまちの実現だ。（不正資料は明らか）
  - ③ にぎわいは開発地域のみで、周辺地域は分散化により衰退する。  
東急：上郷開発は地域全体の賑わいの創出だ。
  - ④ 上郷開発は、地区周辺全体から見れば環境破壊そのものである。  
東急：開発は三分の一だから環境に配慮したまちづくりだ。
  - ⑤ 舞岡上郷線の整備で環状4号線の渋滞解消にはならない。  
東急：地域交通等の円滑化、地域の将来を見据えた計画である。
- 6 **舞岡上郷線の崩壊をアセスの検討対象から外した東急の不正資料**  
東急：環境アセスで審議済である。行政の基準で設計する。
- 7 **神奈川県唯一の深田製鉄遺跡は破壊せず現状保存を**  
東急：横浜市教育委員会と協議し、適切・適法に取り扱う。
- 8 **東急建設は世論の反対意見を横浜市に責任転嫁している**  
東急：横浜市が内容の合理性を勘案し総合的に判断した最良の計画である。
- 9 **東急建設の温暖化対策は世界基準とミスマッチ**  
東急：地権者に再生可能エネルギーを積極的に取り入れるよう奨励する。  
（東急は宅地造成後土地を手放すので建築物への強制力はない）

- 10 古代製鉄炉にも利用された強風の害を不正資料でアセスを通した  
東急：環境アセスで審議済みである。今までの提出資料で不正資料はない。  
（東急は少なくとも埋立て図と風害の二つで不正資料を提出した）
- 11 すり鉢状地形には逆転層発生時に排気ガスが滞留する  
東急：全体が斜面地なので、すり鉢状でも排ガス滞留は考えにくい。
- 12 「上郷開発が第五次国土利用計画と整合している」は詭弁  
東急：国土計画は、国際競争力の観点から土地の有効活用は認めている。  
（上郷開発は国際競争力強化となる訳がない）
- 13 上郷開発は H25 年横浜市都市計画マスタープランと不整合  
東急：H16 年栄区プランでは、土地利用転換の可能性があるとしている。  
（H25 年マスタープランとは不整合）
- 14 人口減少下、宅地化で地権者は先祖代々の土地を子孫に残せない  
東急：都市計画決定及び地区計画が条例化されており、地権者の総意である。

注：（）内は基金の補足説明